

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶれみあむ荒江		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定されないように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントや制作、静と動の活動を取り入れる等いろいろな活動が経験できる工夫をしている。 ・また、同じ活動でも違う曜日に組み込むことで、たくさんのご利用者様が体験できるようにしている。 ・個別活動や集団活動を組み合わせ行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の普段の様子や保護者様からの情報を基に、活動内容を変更していき、ご利用者様や保護者様の普段の生活の中での困りごとを少しでも解消できるようにしていきたい。 ・そのためには、今以上に保護者様と密に情報共有を行っていく。
2	職員の配置数が基準より多い	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名、強度行動障害資格取得者1名の計4名の職員を常に配置している。 ・基準となる人数+1名の人数となっている。 ・そのため、ご利用者様への支援をより細かく行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準以上の職員の配置数を維持していき、ご利用者様の支援をより良いものにしていきたい。
3	ご利用者様の状況共有や情報伝達を保護者様と密に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間繋がる電話やメールを契約時にお伝えしており、緊急時にはいつでも連絡が取れる体制を整えている。 ・送迎時にはご利用者様の事業所での活動の様子や、普段と少しでも変わった様子があればお伝えするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度には新規のご利用者様にも向けて、いつでも繋がる電話やメールを再度お知らせする。 ・また、職員間で報連相をしっかり行い、保護者様からのご利用者様の状況や情報を共有し、支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭くなってきている	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた1人当たりの床面積基準(1人2.47㎡)以上のスペースは確保しているが、ご利用者様の成長につれて、狭くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせて机の配置を変える、パーテーションを使用する、グループに分かれて1回の活動で行う人数を減らす等を行い、活動で使用するスペースを広げる。 ・学校休業日にはドライブや公園に行く等、事業所以外の場所も使用し、ご利用者様の楽しめるスペースを増やす。
2	地域の他の子どもとの交流や保護者様同士の交流の機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は桜十字グループのイベントがあったが、当事業所の休業日だったため参加が出来なかった。 ・令和6年度は保護者会を実施したが、令和7年度は実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流ができそうなイベントを調べ、参加できる体制を整えたい。 ・地域交流を望んでいない保護者様、ご利用者様も多いので、イベントに参加する際には事前にお知らせし、参加するかどうかの希望をお聞きし、希望される方のみ参加する等、無理なく行いたい。
3	マニュアルやそれに伴う訓練の周知が徹底されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は保護者会にてマニュアルの配布、説明を行っているが、令和7年度は行うことができていない。 ・マニュアルに関して職員内で再確認や訓練を行っているが、保護者様に知らせる機会が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の保護者会にて再度マニュアルの配布、説明を行いたい。 ・また、ご利用者様と一緒にしている訓練だけでなく、職員だけで行っている訓練も新聞等でお知らせする等、周知していただける方法を模索していく。